

# しろいし

shiroishi city council paper

# 市議会だより

2026年  
冬  
第220号



令和 8 年 1 月 2 日  
第 60 回 弥治郎こけし初挽き  
新山吉紀 工人 新山真由美 工人

2～4P 12月定例会の概要・審議した議案  
4～9P 市政に対する一般質問(10名)

10P 「市民と議会の意見交換会」  
開催のお知らせ・編集後記

## 議会を傍聴しませんか？

2月定例会は、2月13日（金）午前10時開会予定です



インターネット中継



傍聴のしかた



市長の提案理由説明

12月例会  
一般会計補正予算など25議案を可決

令和7年12月定例会は、12月9日から12月22日までの14日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、報告1件、専決2件、条例他10件、予算5件の計18件でした。全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第65号から議案第69号は採決の結果、全会一致で承認・可決しました。

一般質問は、12月12日と12月15日の2日間で、10名の議員が質問を行いました。

4日目(12月17日)、議案第70号から議案第81号までの質疑が行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

定例会最終日(12月22日)の本会議において、市長提出議案7件(議案第82号から第88号)が追加提案され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条 例 等

◎宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について

宮城県市町村職員退職手当組合は、当該組合の規約に基づき、議員報酬などを支給していませんが、地方自治法において議員報酬などの支給を定めていることなどを鑑み、議員報酬などを支給すべく、規約を変更

することについて協議したいので、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

【質疑】宮城県市町村職員退職手当組合(以下組合)の議

会議員に報酬を支給しない旨並びに組合の役員に給料を支給しない旨の規定を削除する提案で、組合長からの規約変更協議が発端であると言

12月定例会で審議した議案		
議案番号	件 名	審議結果
報告第8号	市長 提 案 損害賠償額の決定及び和解について	報 告
議案第65号	専決処分の承認を求めることについて(専決第12号) (令和7年度白石市一般会計補正予算)	承 認
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて(専決第13号) (令和7年度白石市一般会計補正予算)	承 認
議案第67号	訴えの提起について	原案可決
議案第68号	東北縦貫自動車道弘前線(仮称)白石中央スマートインターチェンジ整備事業の実施に関する工事細目協定書の変更について	原案可決
議案第69号	東北自動車道を横過する白石市が管理する跨道橋の撤去工事等に係る工事細目協定書の変更について	原案可決
議案第70号	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決
議案第71号	白石市駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第72号	白石市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決
議案第73号	白石市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決
議案第74号	白石市道路路線の廃止について	原案可決
議案第75号	指定管理者の指定について(白石市中心市街地活性化交流広場)	原案可決
議案第76号	指定管理者の指定について(白石市障害者地域活動支援センターポプラ)	原案可決
議案第77号	令和7年度白石市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第78号	令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第79号	令和7年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決



【答弁】宮城県市町村職員退職手当組合（以下組合）では組合設立時と比較し、役員・議員の負担が増している。この重責ある立場を明確にするため、組合設立時から支給していなかった議員報酬等について、地方自治法の趣旨に鑑み、組合議会の全員の協議会などで協議を行い、支給に向けた見直しの検討を重ねてきた。今回、構成団体へ依頼している協議についても組合議会の理解を得たうえで進めており、すべての構成団体から議決を受けた後、県の変更認可を受け、組合議会において規約の一部変更を行う予定である。

◎白石市駐車場条例の一部を改正する条例

令和8年度から白石駅前・東口駐車場、白石蔵王駅前・西口駐車場および銚子ヶ森駐車場を包括的民間委託により民間事業者へ業務委託することに伴い、駐車料金の支払い方法を現金以外でも対応できるように、条例の一部を改正するもの。

【質疑】白石市駐車場条例の一部を改正する条例において、駐車料金の支払い方法を現金以外でも対応できるようにするとは、具体的にどのような取り扱いを検討しているのか。

【答弁】これまでは時間貸し駐車場の場合、出庫時に現金のみの精算であったが、これからは現金のほかクレジットカード、電子マネーでの支払いを想定している。またこれまで定期利用者は、駅や市役所の窓口でパスカードおよび納付書を発行し現金納付していたが、これからはインターネットによる申し込みやクレジットカード、電子マネーでの支払いを可能とし、窓口まで来る負担を軽減できると想定している。

◎指定管理者の指定について（白石市中心市街地活性化交流広場）

現在、指定管理者制度により管理が行われている指定期間が、令和8年3月31日をもって終了することから、改めて施設の管理を行わせる指定管理

者およびその期間について、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

【質疑】指定管理料の金額とその詳細は。

【答弁】指定管理者選定審査会で決定された候補者から、136万74千円で申し込みがあり、職員の給与・法定福利費などの人件費と、電気料・水道料、灯油代の維持管理に必要な経費を積み上げた額から、指定管理者の収入となる利用料収入分を差し引いて積算している。

予 算

◎令和7年度白石市一般会計補正予算（第4号）

3億4713万9千円を増額し、予算総額を204億2135万4千円とする。

【債務負担行為】

OPFによる道の駅・防災公園整備事業

4億2185万1千円

議案第80号	令和7年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第81号	令和7年度病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第82号	白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第83号	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第84号	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第85号	令和7年度白石市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第86号	令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第87号	令和7年度白石市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第88号	令和7年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決

【歳出】

○病院事業会計補助金

5000万円

【質疑】PFI事業者が行なった地盤調査で判明した、液状化の範囲および評価指標数値を含めた調査結果の詳細は。

【答弁】PFI事業者が建物の設計を行うために（仮称）道の駅しろいしの建物「防災公園管理棟」全天候型ドームのそれぞれの直下において地質調査を行なった結果、液状化の可能性がある地層が見つかった。このため、

液状化判定および液状化の対応を日本建築学会による建築基礎構造設計指針に基づき、設計用水平加速度3.5メートル毎秒毎秒で検討を行なった結果、3つ全ての施設において液状化の可能性があり、当初予定していた地盤改良の柱状改良工から、杭基礎に変更することが必要となった。

【質疑】病院事業会計補助金算定にあたり、指定管理者が行なったエネルギー費削減や経営改善の取り組み内容をどの

ように把握・評価し、市が5000万円を適当と判断したのか。

【答弁】令和5年度の指定管理開始以降、医療法人仁誠会では稼働率の上昇、救急車受け入れの増加、休床病床の再開など収益アップの取り組みを行いながら、委託業務見直しによるサービスの向上と委託費の抑制、電力会社の切り換えによる光熱費の抑制などを実施し、費用削減に取り組んでいる。市ではそれらの取り組みや運営状況について、毎月開催している管理運営協議会の場で確認している。特に医業収益は徐々に上昇し、二つの取り組みが収益の増加につながったものと評価しており、病院を適切に維持し地域医療を守っていくために、エネルギー価格、物価の高騰は経営だけでは賄いきれないことから補助金が必要であると判断した。

◎令和7年度白石市一般会計  
補正予算(第5号)

3億6355万9千円を増額し、予算総額を207億8491万3千円とする。

【歳出】

○物価高騰対策商品券配布事業

1億7091万1千円

○生活応援ポイント発行事業

3696万6千円

【質疑】物価高騰対策商品券配布事業の詳細は。

【答弁】国の重点支援地方交付金を財源に、令和8年1月1日現在で市内に住所を有する市民を対象に「生活応援商品券」ワンだふるクーポンを配布するもの。商品券の額は5千円とし、500円券10枚を、大規模店でも利用可能な共通券4枚、小規模店で専用券6枚に割り振り、約3万セットを令和8年2月から3月末までに、郵送により各世帯に配布したいと考えている。商品券の利用期間は令和8年4月1日から9月30日までの6か月間を予定して

いる。

【質疑】しろいし生活応援ポイント発行事業の詳細は。

【答弁】物価高騰の影響を受ける市民を支援するため、みやぎ県民公式アプリ「ポケットサイン」に登録している市民と新たに登録する市民の合計1万2千人に1人あたり3千円分の「みやぎポイント」を発行するもの。1ポイント1円としてスーパーなどさまざまな店舗で使用でき食料品や日用品等を購入することによって物価高騰による市民の負担を軽減しようとするもの。「ポケットサイン」アプリには「みやぎポイント」のほか、防災、健康づくり、子育て支援などさまざまな場面で役立つ機能が備わっており、特に防災アプリは災害時に避難所の運営等に活用することで、市民の安全・安心と市の防災対策の向上が期待されることから、この機会に「ポケットサイン」の普及拡大にも併せて取り組んでいきたいと考えている。

# 市政に 対する一般質問

12月定例会の一般質問は、12月12日・15日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

佐久間順子 少子化に伴う子育て支援のさらなる充実について

大内 卓也 本市のクマ対策について

四竈 英夫 クマ出没対策について

高子 秀明 学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について

角張 大治 議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について

佐藤 龍彦 本市の孤独・孤立死対策について

大森 貴之 重点支援交付金・推奨事業メニューについて

澁谷 政義 クマの出没被害対策について

伊藤 勝美 財政の今後の見通しについて

村上 由紀 白石市博物館基本構想について



## 少子化に伴う子育て支援 のさらなる充実について

佐久間 順子



〔質問〕ゼロ歳児から2

歳児の保育料の無償化は単独の財源を使ってでもやるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕ゼロ歳児から2歳児の保育料の無償化は、非常に有効な施策であると考えている。一方で自治体の財

源状況により、教育や子育て環境に差が出ないようにするべきであるとも考えており、全国市長会、全国青年市長会を通じ、国に対して全国一律での対応を要望している状況である。継続して事業を行うためにもしっかりと財源を確保した上で進めていくことも非常に重要であ

る。今後、財源なども含め検討していく。

〔質問〕こども誰でも通園制度も取り入れていくのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕令和8年4月1日から、第二幼稚園での実施に向け現在準備を進めている。

〔質問〕病児・病後児保育について、いつ頃を目途に実施していくのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕今年4月に一般社団法人白石市医師会から病児・病後児保育施設の開設に向けての要望書が提出されており、白石市医師会からも全面的に支持をいただいていることから、現在開設に向けての準備を進めている。実施場所には医療機関との連携が必要となることから公立刈田総合病院に設

置し、開設時期について

も今後、医療法人仁誠会と協議をしていく予定であるが、必要となる設備や人員配置、どの

ように受け入れが可能かなど事業内容について詳細に協議していくことが必要ことから、令和9年度中での開設を目途に進めたいと考えている。

〔質問〕中学校入学祝い金の助成も今後取り入れて欲しいと考えるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕恒常的な財政負担が必要となることから、国や県に対して補助金などの要望を行うほか、本市の財源状況、他自治体の動向などを踏まえ研究していきたい。

### 〔その他の質問〕

◎放課後等デイサービスと保育所等訪問支援について

## 本市のクマ対策について

大内 卓也



〔質問〕クマ出没マップは作成公開されているか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕県が「令和7年度クマ目撃等情報マップ（速報）」として公表している。

〔質問〕クマの出没頻度が増加している地域への対策について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕被害防除対策として、電気柵の設置補助や廃棄野菜・生ごみの適正処理方法、目撃情報の周知、有害個体の捕獲、生息環境管理として、放

任果樹の除去・山林に接する耕作地での山林側の除草の周知などを行なっているところである。

〔質問〕市民へのクマに対する防災啓発活動について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕安心メールやLINEで出没情報の周知を行っている。

〔質問〕クマが出没した際の迅速な対応体制は整っているか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕クマを目撃した際は、農林課や警察署に目撃した日時・場所、頭数や大きさ、被害の有無、逃げた方向、情報提供者の連絡先などの情報をお寄せいただきたい。

〔質問〕捕獲したクマの処理方法はどのようにされているか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕白石有害鳥獣解体場で10キロほどの残さになるように解体した後に

冷凍保存、一定数の残さが溜まり次第仙南環境公社が仙南クリーンセンターに搬送し、焼却処分をしている。

〔質問〕学校・公民館などの公共施設において、クマ対策の教育・訓練を行なっているか伺う。

〔答弁〕〔市長〕県や専門家の助言を得ながら検討を行なっていく。

〔教育長〕登下校時等におけるクマへの注意喚起やクマから身を守るための指導をするよう指示をしている。

〔質問〕他の自治体で効果的だったクマ対策の事例を参考に考えるはあるか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕今後は、市町村へのさらなる支援を求め、国や県と連携し対策を講じていきたい。

## クマ出没対策について

四電 英夫



知を行なっている。

## ◎冬場の交通安全対策について

〔質問〕今年の秋はこれまでにない頻度でクマが出没している。柿の実等の被害に加え人への危害も報道されている。クマが民家に近づかないようにするため対策を伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕

収穫しない果実は早めに処分する。電気柵などを設置してクマを寄せつけない。本市としては、国や県から発出される情報を注視し、被害防除対策として電気柵の設置支援、廃棄野菜生ゴミの適正処理、有害固体の捕獲、放任果樹の除去、山林に接する耕作地の除草の周

〔質問〕国道113号福岡蔵本地内の改良工事が終わり、12年の歳月と55億2千万円の予算を投じて完成した道路は急カーブがなくなり道幅も広く快適な道路となった。道路が良くなればスピードも出がちなようになる。事故防止についてどのような対策を講じるか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕白石市交通安全新聞の中に冬季間の運転時のポイントを載せて啓発を行なった。また交通指導隊により、毎月運転者や歩行者に交通安全を呼び掛けている。

〔質問〕交通安全協会との連携について伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕

白石地区交通安全協会や他の交通安全協会関係団体と連携して交通安全の啓発に努めて行く。

## ◎冬季間の防火活動について

〔質問〕乾燥期に入り全国で火災が発生している報道があるが、市民に対してどのような防火の呼びかけをするのか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕

秋の火災予防に合わせ、消防団には各地区の火災予防警戒をしてもらい、婦人防火クラブには住宅用火災報知機の設定呼びかけ等をしてもらっている。

〔質問〕消防団と婦人防火クラブとの連携について伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕

火災予防を担う消防団と婦人防火クラブとの連携は大変重要であり、今後連携を図っていく。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

## 学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について

高子 秀明



〔質問〕プロジェクトチームの基本計画で、想定する小中一貫義務教育学校の児童・生徒数、特別支援を含む学級数、土地取得予定地と費用、建設費用、補助金交付金等歳入について伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕

プロジェクトチームの基本計画は無いが、令和5年7月に設置された「白石市学校教育・保育審議会」からの答申を基に、教育委員会として今年度中に「小中学校の在り方に関する基本方針案」を示す予定である。児童・生徒数は少子化が想定以上のスピードで進行している状況で、およそ10年後は現在の5割程度と見込まれる。学校の標準規模は、学校教育法施行規則に規定されており、これを踏まえ特別支援学級についても、支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに対応した必要な学級数を設置したいと考えている。

〔質問〕各小・中学校の校舎および設備について、修繕要望数と未対応件数およびその対応手順等を伺う。

〔答弁〕〔学校管理課長〕

修繕要望数は令和5年度には167件、令和6年度は163件の修繕を行なっている。修繕要望は学校管理課で把握し、施設担当が現場確認を行い、当初予算編成時には副市長が現場を確認の上、安全性・緊急性を考慮し、補正予算または当初予算に計

上している。今後も安全性や緊急性を十分考慮し、児童・生徒の安全安心を第一に取り組んでいく。

〔質問〕児童・生徒と教職員と保護者のみならず、広く市民に透明性ある合意形成を図る必要があるが、少子化が急激に進行している状況や安全で快適な衛生環境下での教育を受ける権利を踏まえた学校再編の市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕

学校再編は児童・生徒、保護者のみならず、地域の方々と合意形成を図ることは極めて重要である。本市としては、教育基本法第4条をはじめとする関連法令および「未来を拓く学校教育充実化条例」に基づき、子どもたちに最善の学びの環境を提供することを最優先に考え、持続可能な学校の在り方を丁寧かつ着実に検討し、よりよい教育環境の実現に全力で取り組んでいく。



## 議会議員と首長の役割整理と 制度理解の促進について

角張 大治



〔質問〕議会制民主主義を支えるには、議会と行政の役割の違いに関する制度理解の普及と、市民への情報提供が不可欠である。近年の投票率低下や政治離れが指摘される中、従来型の啓発では不十分で、二元代表制における議員と首長の役割も十分に理解されていない現状があると考えられる。

そこで、主権者教育の視点を踏まえた選挙啓発の在り方や、有権者が適切な判断基準を持つための情報提供について、市の認識と今後の取り組みを確認する。市民向けの広報や資料

において、議会と行政の役割の違いをどの程度明示しているか伺う。

〔答弁〕「市長」市民は議会と行政の役割の違いを理解していると受け止めている。

〔質問〕市民への周知の必要性の認識を伺う。

〔答弁〕「市長」先ほどの答弁と同様。

〔質問〕投票率向上や選挙啓発を進める上では、議会と行政の役割の違いを市民に明確に伝え、制度理解を深めることが重要である。議会は市の目的や方向性を決め、行政はその実現手段を設計・執行し、議会がその過程と結果を監視・評価する。この役割分担の理解が、有権者の適切な判断や民主主義の基盤につながると考える。議会議員と首

長の役割に対する有権者の理解の重要性について、市の考えを伺う。

〔答弁〕「市長」市民・有権者は、議会議員と首長の役割を理解していると受け止めている。

〔質問〕学校教育や社会教育との連携により、二元代表制の理解、政治的リテラシー向上につながる取り組みを検討できないか伺う。

〔答弁〕「教育長」二元代表制の理解や政治的リテラシーの向上は民主主義を支える上で重要である。学校教育では学習指導要領に基づき、議会制民主主義や地方自治、選挙制度について体系的に指導しており、適切に行われていると認識している。一方、社会教育については、市民の主体的な学びを尊重し、環境整備に努めていきたい。

## 本市の孤独・孤立死対策について

佐藤 龍彦



〔質問〕孤独・孤立死に対する認識を伺う。

〔答弁〕「長寿課長」孤独死、孤立死については、全国的にも医学的・統計的な統一定義が定まっておらず、警察や医療機関、福祉部門など、それぞれの現場での判断や事例把握に基づいているのが実情である。本市においてもこうした状況を踏まえ、統一した基準で公式統計として整理公表できる段階には至っていない。今後の孤独・孤立対策を検討していく上で極めて重要であると認識しており、どのような定義と指標に基づいて実態を把握していくのか、今後、庁内

関係部署とも連携しながら検討していきたい。

〔質問〕本市は孤立防止のため、どのような支援を実施しているのか伺う。

〔答弁〕「長寿課長」孤立防止の問題は、高齢者のみならず、生活困窮者、子育て世代、子どもなど横断的に各分野に関わる問題であり、庁内各部署と連携しながらそれぞれのライフステージに応じた支援を実施している。それを通じて孤立の未然防止と早期発見ができる体制の充実を図っていきたい。

〔質問〕今後の孤独・孤立死のリスク軽減に向けた取り組みについて伺う。

〔答弁〕「市長」高齢化率の上昇や高齢者・単身世帯の増加を踏まえ、孤

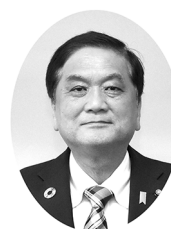
独・孤立死は重要な課題であると認識している。特に必要な高齢者の孤独・孤立への対応について「白石市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の施策目標「生きがいづくりと社会参加、地域での支え合いの促進」において「地域での支え合いの促進」を掲げており、「地域コミュニティによる生活支援」による高齢者の見守りや「生活支援体制整備事業」における地域内の交流など、孤独と孤立といった状況をつくらないための取り組みを行なっている。引き続き、孤独・孤立死のリスク軽減と未然防止に向けた取り組みを着実に進めていきたい。

### その他の質問

◎国民健康保険税の子ども均等割軽減について

## 重点支援交付金・推奨事業 メニューについて

大森 貴之



〔質問〕水道料金の減免などが推奨事業メニューに盛り込まれた。今回の重点支援地方交付金を運用すれば財源の問題はクリアできると考えるが、水道料金の減免を行う考えはないのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕水道についてはすべての市民が使用しているものではなく、平等性、公平性の面での課題を踏まえ、今回水道料金の減免は考えていない。

〔質問〕重点支援地方交付金推奨事業メニューの内、どの事業に使われる計画があるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕全市民を対象とした商品券配布事業、学校給食費補助事業、生活応援ポイント発行事業、事業者支援

として、医療機関、薬局、高齢者介護事業所、障害サービス事業所及び保育園等に対する物価高騰対策支援事業の実施を検討している。

〔質問〕どの事業を実施するにしても、交付後、遅滞なく実施し速やかに市民一人一人に支援が行き届くようするために、今からその体制を整えるべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕事業実施体制を整備し、庁内関係各課が連携を図り物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して、速やかに支援を行えるよう取り組む。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

## ◎衛星写真による漏水調査について

〔質問〕衛星写真を活用した調査で得られた成果、発見箇所数、発見に要した時間および作業人数等において、従来の漏水関係の事業と比較してどのような成果があったのか伺う。

〔答弁〕〔上下水道事業所長〕半径100メートルの範囲で87エリアにおいて漏水の可能性があると示された。路面音聴調査や夜間作業などの作業時間が短縮され、作業に従事される方や本市職員の働き方改革につながったと認識している。

〔質問〕再度衛星写真による漏水調査の実施予定があるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現時点では交付金の確約がないこと、単独での調査は困難である。国の制度や財源が確保できる条件が整った段階で改めて実施に向け判断したい。

## クマの出没被害対策について

澁谷 政義



〔質問〕本市の鳥獣保護管理事業にて、冬眠明けの捕獲計画策定について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕「クマ被害対策パッケージ」に「春期のクマ捕獲など、個体数管理に有効な捕獲事業の推進」が盛り込まれ、県の「特定鳥獣保護管理計画・評価委員会」において「宮城県ツキノワグマ管理計画」の見直しが行われるものと認識している。

〔質問〕クマが出没にくい環境の整備について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕環境の整備には「緩衝

地帯の整備、放任果樹等の誘引物の管理への支援を速やかに行う」

ことが盛り込まれることから今後の情報を注視し対策を講じる。なお緊急度・優先度を見定めた上で対応していきたい。

〔質問〕実施隊（ハンター）の研修および訓練の計画等について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕実施隊員を対象とした狩猟用スラッグ弾等の実技研修の必要性が高まっていることから、他の自治体の事例を参考に実施隊長などと現在検討している。

〔質問〕出動の要請があった場合の隊員の保障（身分）等について伺う。

〔答弁〕〔市長〕捕獲活動は危険性が非常に高く、活動中の不慮の事故に

備え傷害保険に加入している。身分は非常勤の特別職を準用している。

〔質問〕ガバメントハンターの確保と育成について伺う。

〔答弁〕〔市長〕常勤職員の確保、通常業務と兼務する場合の業務負担や人事異動、有害鳥獣を駆除する担い手には長期間の訓練と多くの課題を抱えており、これまで同様実施隊の皆さまの協力を得ながら対応を行なっていきたい。なお実施隊が対応できない場合は、県（ガバメントハンター）に協力を依頼していく。

〔質問〕本市に鳥獣被害対策専門チームの新設の必要性について伺う。

〔答弁〕〔市長〕有害鳥獣対策やクマ対策の体制強化を検討を行い、まずは農林課内の体制強化を今後検討していきたい。



## 財政の今後の見通しについて

伊藤 勝美



〔質問〕総務省は、国・地方の財政状況に関して、引き続き厳しい状況にあり歳出削減等を進めて財政健全化を図ることが喫緊の課題となっていると示している。こうした状況は白石市においても同様であり、今後さらなる人口減少と少子高齢化がもたらす税収減の中、老朽化したインフラ、公共施設等の更新費用の増加により歳入減少・歳出増加という厳しい財政状況を迎えることが予測されるが、本市の財政状況について伺う。

ふるさと納税寄付金の受け入れが増えているものの、全体的には人口減少が著しく進んでいることなどが影響して、歳入における自主財源の占める割合が低く、地方交付税や国・県などの補助金の活用には依存する傾向が大きいとともに、基金の活用による財源調整によりバランスをとっている状況である。

〔質問〕今後の公共施設等の更新費用の増加を見据えた現時点での本市財政の中長期的な見通しはどのように推測されるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕更新にあたっては、施設や設備の老朽化状況に応じた対応による増加が見込まれることから、中長期的な財政負担は増加する

ものと推測をしている。

また補助金や地方債で賄えない費用を補うための一般財源は、人口減少の影響を受けて減少するとともに、施設の更新などに伴って借り入れた地方債の償還費用は増加するものと推測している。このことから、本市では「白石市公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点で公共施設の全体像を全庁的に検討することで、効率的・効果的な公共施設の最適な配置を図るとともに、施設の安全に配慮した更新のタイミングと、地方債の償還費増加のバランスに注意を払う必要があると考えている。

### 〔その他の質問〕

◎新年度の当初予算編成について

◎デジタル教科書について

## 白石市博物館基本構想について

村上 由紀



平成17年に白石市博物館基本構想の答申が示され現在に至るまで、市民から多くの浄財も寄せられたが、20年間具体的な進捗はない。歴史文化を守るだけでなくそれを生かすためにも、当初の構想に捉われず実現可能な規模から検討する選択肢もあるのではないかと。

〔質問〕文化財の総点数と施設の課題を伺う。

〔答弁〕〔生涯学習課長〕寄贈資料が9872点、寄託資料が5万点以上、埋蔵文化財資料は約1700箱。保存施設は収蔵スペースが逼迫し、資料整理室も白石城歴史探訪ミュージアムも建設から40年以上経過し老朽化が進んでいる。

〔質問〕将来的なリスク評価を伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕温湿度管理や耐震・防火性能が不十分となり、カビや虫害、腐食等による文化財の劣化、災害時の被害拡大、資料受け入れが制約され市外流出や散逸を招く恐れがある。

〔質問〕博物館建設は建設自体が目的ではなく、文化財を守り、未来につなぎ、市民が誇れる拠点を整備することに意義があると考えている。拠点整備の意義と評価を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕郷土ゆかりの資料や先人の歩みに触れることで、まちへの誇りと愛着が育まれ、シビックプライドを育む中核的拠点になる。また展示や講座、ワークショップ、学校教育との連携、世代や立場の異なる市民の交流の場を生み出し、地域「コミュニティ」の絆を強める役割

を果たすと認識している。博物館等施設を核とした魅力発信は観光や関係人口の拡大、地域経済の活性化にもつながると期待する。

〔質問〕今年は白石城開門30周年という「歴史のまち白石」にとって大きな節目の年で、拠点整備の検討を前に進める意義は大きいと考える。具体的な試算や比較検討に着手することを決断するのは今だと考える。市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕博物館等施設は、文化財保全、教育的効果や観光振興、地域経済への波及、郷土への誇りと愛着の醸成など、多面的な効果が期待できる。財政的に持続可能で、市民ニーズにも合致し、既存施設や周辺観光資源との連携、他施設との機能複合化の可能性を総合的に検討していかねばならない。まずは平成17年に答申を受けた博物館基本構想の見直しに着手したいと考えている。

### 白石市議会会議録を 公開しています

白石市議会 会議録 **検索**

白石市のホームページに  
会議録を公開しております。  
キーワードでの検索の  
ほか、会議・発言者・期間  
でも検索できます。

### 議会を傍聴して みませんか？

2月定例会は、2月13日(金)  
午前10:00開会予定です

氏名・住所の記入など、簡単  
な手続きで傍聴ができます。  
また、会議の様子は「イン  
ターネット中継」や「録画  
配信」を行なっております。  
ぜひ、スマートフォンやパ  
ソコンなどでご覧ください。

<12月定例会>

- 傍聴者のべ人数 22人
- ライブ配信視聴回数 517回
- 録画視聴回数 248回

※録画配信は、映像の編集を  
行うため、ライブ配信終了後  
おおむね5日後(土日・祝日を  
除く)からご覧いただけます。



インターネット中継



傍聴のしかた



## 第9回市民と議会の 意見交換会

日時

令和8年3月15日(日曜日)

第1部 10:00 ~ 11:30 (受付開始 9:30~)

第2部 14:00 ~ 15:30 (受付開始 13:30~)

会場

白石市中央公民館ホール

※申し込み不要。直接会場へお越しください。

形式

ワークショップ(議員4名のグループに参加)

※グループ分けは抽選式とさせていただきます。

テーマ

### ～ 私たち市民が考えるまちづくり～

市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために

市民の皆さま、いつもありがとうございます。

この意見交換会では、市民と議会の情報を共有する大切な時間です。

初めての方も、ぜひお気軽にご参加ください。



参考資料：第六次白石市総合計画

主 催：白石市議会

お問い合わせ：議会事務局 0224-22-1351

### 編集後記

広報委員会では、表紙のデザインと特集ページのデザイン構成の見直し、一般質問への二次元コードの貼付など議会の取り組みが伝わる紙面を目指し、これまで改善を重ねてきました。今後も工夫・改善に努めてまいります。

さて、社会環境が大きく変化している今、市民の皆さまの声に耳を傾け、対話を重ねながら課題を共有し、一つ一つ形にしていける事が私たちの大切な使命であると考えます。未来に向けた選択を積み重ねながら、白石のこれからを皆さまと共に描いていく議会を目指してまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

議会広報委員会  
副委員長 村上 由紀

### 議会広報委員会 委員

委員長	四竈	英夫
副委員長	村上	由紀
委員	角張	大治
委員	佐藤	龍彦
委員	高子	秀明
委員	大森	貴之
委員	佐久間	順子
委員	大内	卓也